

## 令和3年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(岸・向原地区)

開催日時	令和3年11月11日(木)午後6時から午後8時50分
場 所	生涯学習センター多目的ホール
町民参加者	38人(50代2人、60代以上36人)
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、参事兼都市整備課長兼新東名対策室長、総務防災課長、町民税務課長、保険健康課長、福祉課長、定住対策課長、農林課長、環境課長、学校教育課長、事務局3人

### 出席者からの主な意見や提案

#### 《テーマ：交通安全対策と道路環境の整備》

- 下本村の橋から原耕地方面に抜ける県道の横断歩道の線が薄くなっており、雨の日など見づらくなっている。この周辺は、買い物をする方など横断者が多くなっている。早急に対応していただきたい。
- 原耕地地区の町道から県道に出る箇所の一時的停止の表示が消えかかっている箇所がある。町道部分については、町で対応していただきたい。
- ① 県道721号において、会社の大型車両が通ることにより、道路が陥没し、度々修繕を行っている。特にぐみの木公園の付近は散歩などで多くの歩行者がいるが、その中を大型車両が通行しており危険である。大型車両に対する速度規制や地元の車を優先させるような対応をお願いしたい。また、企業の工場付近の木が枯れてしまい黒くなってしまっている箇所がある。町としても調査を行い町民の安全を守って欲しい。  
② 三保地域において、今年5月の連休や夏季に県道76号の中川の集落を過ぎた先の道路沿いに駐車した車が並んでおり、付近に使用したオムツなどのゴミがあった。このゴミが、水道水に影響しないか心配である。車両の駐車禁止などの対応はできないか。山北町は観光に力を入れているはずなので、県と対応をお願いしたい。
- 川村小学校の通学路に関して、宿から東光院入口までは、白い歩道表示があるが、東光院から川村小学校に向けて通学路にかけては表示がされていない。グリーンベルトまたは白い歩道表示があれば安全に通学できるのではないか。川村小学校の入口部分について、県道から丸山方面に向かう町道を横断して通学している。また、これまで児童の通学の見守り隊を結成し、児童の通学を見守ってきたが、高齢化の影響により人数が減っている。現在、ボランティアに頼っている状況なので、町としても何か対応を考えていただきたい。県道74号の南原地区付近において、道幅が狭く、大型車両が行き違えなくなることがあり、夜中に運転手同士でトラブルとなることがある。過去に県が道路の

拡幅など対策を考えたが、解決にいたらなかった。町から県に対応するよう強く働きかけていただきたい。

○循環バスの下本村バス停にはベンチが置かれていない。買い物をした高齢者が歩道に座ってバスを待っている。最近では、南箱道路が開通して以降、交通量が増加し危険が増している。高齢者の安全のためにもバス停にベンチを設置して欲しい。

○ぐみの木公園周辺の県道の歩道に草が繁茂しており、高齢者や学生が歩道を通れず、車道に出て通行していることがあった。他にも町で通行する際に危険な箇所を発見した場合には、対応をお願いしたい。また、当該箇所の付近の河川では護岸工事が実施されており、河川側はコンクリートで埋められ、草もきれいに刈られているが、歩道に隣接する箇所も同じような対応ができないのか。

○農道の側溝を自治会で定期的に清掃しているが、草木が詰まることがある。詰まる原因となっている草木は、高く茂っている木から落ちる枝や葉が原因であるが、高所にある木については、伐採を行うことができない。所有者に木を伐採するよう町から働きかけるか、町で定期的に巡回して伐採をお願いできないか。

#### 《テーマ：用水路の管理対策》

○現在、用水路は主に生活排水、特に簡易下水として利用されている。また、経年劣化で石積がはがれたり、地震で落ちそうな箇所がある。川村用水で堰の底をコンクリートで改修しても、側面の石積の裏が洗われ、崩れてしまう場所もある。側面の改修も併せて必要と思われる。

○用水路の改修において、今にも崩れそうな危険な箇所もある。個人で修繕しなければならない箇所は自治会からその旨を伝えることが難しい。どこまでが個人で修繕しなければならない箇所になるのかご教示いただきたい。

○岩流瀬用水から宿、斑目、原耕地地区方面に向かって流れる水は、最終的には前耕地地区に達し、尺里川に流れていくが、最近では、集中豪雨などで前耕地地区に水が集まり用水路が溢れることがある。岩流瀬用水から各用水路に流れる箇所に設置されている水門の管理はどうなっているか。また、ぐみの木公園周辺から酒匂川に流れる用水路は、酒匂川が増水した際、用水路に水が逆流するおそれがあるが、それを防ぐための水門の設置、管理はどのようにされているのか。用水路が分岐している箇所の小さい水路について、大雨の際に水量を管理することはできないか。

## 《テーマ：豪雨災害への備え》

- ※③のサブテーマ
- 1 尺里川・滝沢川の氾濫対策について
  - 2 豪雨時の避難について（避難所、避難経路、情報伝達、避難方法など）
  - 3 豪雨災害に備えるための防災訓練について

○近年、各地で豪雨災害が発生しており、山北町でもいつ大規模な土砂崩れや河川の氾濫などが発生してもおかしくないと考える。尺里川・滝沢川の氾濫についてはこれまでも近隣の住民から不安の声が寄せられているが、未だにその不安を解消する対策が取られているとは言えない。河川の管理者は県だが、町としての現状認識と今後の方向性に対する考え方を聞きたい。

○豪雨時の避難については、ハザードマップで避難所として指定されている場所やそこに至る経路も安全とは言い難い。状況によって、より安全なルートや避難場所をどのように伝達すれば良いのか、更に現在指定されている避難所以外で避難可能な場所の提供を地域の企業などに要請できないか。また、防災訓練にも関係するが、これまでは歩いて避難することを前提としてきたが、豪雨の中歩いて避難することは現実的にはあり得ない。車を使って避難することを前提とした避難方法を詰めておくべきではないか。また、現在のコロナ禍のような中での避難所の運営についても考えを聞きたい。

○防災訓練については、今年初めて風水害を想定した総合防災訓練を予定していたが、緊急事態宣言のために中止となってしまった。山北町においては地震による災害より豪雨による災害の方がより可能性が高いと考えるので、それに対応する訓練は必須と考える。町として、どのような訓練をすべきと考えているか。また、各自治会（防災会）で防災組織を持っているが、人口減少や高齢化が進む中で、防災組織の見直しが必要と考える。

○近年、熱海の土砂崩れなど全国で大雨による大規模災害が頻発している。地域でも、滝沢川及び尺里川が大雨等の際に氾濫するおそれがあることから、過去に自治会から県西土木事務所長に文書を提出し、現地調査を実施して欲しい旨の要望を行った。現状、大雨や台風の際など年を重ねるごとに川の水位があがっている。実際に全国でも川の氾濫による災害が多発しており、尺里川、滝沢川においても災害が起きてからでは遅い。今年の9月の県の調査の際には、堤防などの設計が基準を満たしているとのことだったが、基準は50年前のものであり、現在の局地的な大雨に対応できる基準ではないのではないかと。町の総合計画では、町と地域・自治会と協働で進めていくこととなっているはずだが、町の自治会への組織的な支援がないのか。

○災害が発生し、避難場所が設営された場合、避難所の対応はどのようになっているのか。対応は町職員となっているが、資料では自治会の役員がサポートすることになっている。このサポートの内容はどのようなものか。災害時の避難場所での自治会の役割を明確に

した資料を提供して欲しい。そういったものがあれば、災害時の避難場所での対応がスムーズに行えるのではないか。

○新東名高速道路の工事の進捗状況を町と関係機関で視察をさせていただいたが、山が工事前と比べて、木が伐採され禿山となっており、大雨の際に山が水を貯えることができず災害に繋がるのではないかと懸念している。私たちが住んでいる地域は、尺里川に挟まれておりその上流部で工事が進んでいるため、特に心配している。

○前耕地地区から山北高校に向かって橋が架かっているが、橋の付近の堤防の真ん中に大木がある。災害などで大木が道路に倒れた場合には、車両が通行できなくなるため、伐採を要望していただき管理道路としての機能を果たすようにしていただきたい。また、酒匂川について、南足柄の大口から村雨方面に川の水が流れるが、その流れが左岸に集中している。川には大きな岩が並ぶなど整備をする時期にきていると思われるので、川の流れを真ん中に持ってくるように整備を要望して欲しい。

○町内の企業が、災害時に町民へ避難所の提供などをしていただけるとの話があるが、自治会と企業と町の三者協定といったかたちで災害時に連携をとり、企業に避難所の提供などの協力をいただける体制づくりの検討をお願いしたい。

#### 《テーマ：その他》

○現在、クマが丸山周辺に出没しているが、猟友会等による猟期は通常どおり予定されているのか。猟期は、鉄砲の音が響くことにより、クマが驚いて出てくるのではないかと不安である。

○総合計画の進捗状況について情報が町民に提供されていない。現在の進捗状況はどうなっているのか。企業誘致など大きな事業については、目に見えるものなので町民も進捗が確認できるが、その他に掲げた計画が実行されているのか、また、庁内で進捗管理をどのように行っているのか。

○山北町でも今後、外国人が増えてくると思われる。地域にも外国人の家族が住んでおり、小さい子どもがいるが、循環バスの乗り方も分からなかった。現在、その家族は地域の繋がりもなく孤立している。子どもは今度幼稚園に行くことになるが、そういった方のサポートは、どのように行うことになっているか。